



2019年度日系研修員事業提案案件表



下半期：研修期間：2019年10月～2020年3月

※ ブラジルでの募集開始時期：2019年2月25日～2019年04月12日；日本での研修期間：2019年10月～2020年03月

★学科主任教授の内諾書が必要である。
他コースについては、受け入れ先と研修内容を確認する必要があります。（受け入れ先とのメール交換は必ず研修申込書に添付すること。）

非日系対象受入コース

- C07： 地域保健医療福祉一既存の社会資源を要介護高齢者へ活かす手法
- C12： 幼児教育と日本文化活動
- C14： 日系継承教育(教師育成Ⅱ)

案件No.	コース種別	コース名	人数	半期	開始	終了	①目標/②成果/③計画(内容)	現職・資格・知識	一般社団法人とかち地域活性化支援機構	連絡先
C1	集団	6次産業化、農商工連携、アグリツーリズム	8	下	2019/9/29	2019/11/1	①研修員が、6次産業化・農商工連携、アグリツーリズムにかかる知見を習得する； ②1. 研修員に、日本の6次産業化・農商工連携、アグリツーリズムの全体像が理解される。 2. 研修員に、日本の6次産業化・農商工連携、アグリツーリズムの手法が習得される。 3. 日本の6次産業化・農商工連携、アグリツーリズムを参考に、自国で応用可能なアイデアを考案できる。 4. 研修員が、帰国後の具体的な実践計画を作成する。 ③1. 講義：6次産業化・農商工連携、アグリツーリズムの概要、日本・帯広の農業、農業経営等 2. 視察：6次産業化、アグリツーリズムを実践している農家、法人 3. 実習：事業計画の実践、加工及びサービス・販売を体験 4. 発表：内部及び関係先	現職・資格・知識： 農業経営者、農業協同組合職員、農業系行政職員 農業の専門知識を有するものが望ましい 経験年数：3年 年齢：21歳～50歳 学歴：大卒(相当) 日本語能力初級後半 他言語：通訳配置可能性有	一般社団法人とかち地域活性化支援機構	岩本 聖史 e-mail: kaigai@tokachi.biz site: http://tokachi.biz/
C2	集団	音楽リハビリプログラム	6	下	2019/11/4	2019/11/28	①・音楽リハビリプログラムの理論と実技を習得する・帰国後に現地でリハビリの実施やスタッフ等の指導・訓練ができる人材を育成する・日本国と日系社会との関係強化のための交流を促進する。 ②・高齢者介護に必要な知識の6つの観点「運動器機能向上」、「口腔機能向上」、「栄養改善」、「認知症予防」、「閉じこもり予防」、「うつ病予防」を理解する・6つの観点をどのようにプログラムとして展開していくのかを理解し、実際に展開できる・リラクゼーションヨガ・リズム運動・音楽セッションの3つのプログラムの運営管理手法を習得する・音楽を活用した運動、音楽演奏手法、脳の活性化訓練手法を習得する ③・講義：研修会場で施設長などの講義を実施・実習・OJT：リハビリプログラムの実演・見学・ゆらリズム施設の見学・演習：ゆらリズム等で利用者向けのプログラム実施・発表：研修内容についてのレポート作成と発表	現職・資格・知識： ・高齢者福祉を中心とした保健医療福祉業務に従事しているもの(看護師、介護士等の資格があれば尚可。); 音楽や認知症患者に興味があること。 年齢：21歳～50歳 学歴：大卒(相当) 日本語能力初級前半 通訳配置可能性有 教材：日本語and/orスペイン語、ポルトガル語	株式会社 ゆらリズム	菊地 義仁 e-mail: kikuchi.yura@gmail.com Site: http://yura-rhythm.com/
C5	集団	起業・後継者のための経営力強化	10	下	2019/9/29	2019/11/2	①経営者に求められる基本的な知識や心構え、企業に求められる社会的責任について学び、起業や経営改革、新規事業などの事例研究を通して、事業経営のノウハウや失敗しない経営のポイントを習得する。また、研修を通じて、起業あるいは事業の継承・拡大の構想を明確にし、具体的なかつ実現可能性のある事業計画書を作成する。 ②1. 経営者としての責任や組織をリードする者としての自覚が促される。 2. 組織運営、マーケティングおよび財務管理の手法を習得し、事業経営のノウハウを習得する。 3. CSR、CS経営等、より良い事業運営に向けた取組みについて理解し、事業計画に反映される。 4. 事業所訪問や事例研究を通して、事業経営のヒントを得る。 5. 具体的なかつ実現可能な事業計画書が作成される。 ③1. 講義：事業計画とは、日本の企業文化、日本のビジネス環境、経営者の役割と組織、経営戦略、事業構想とビジネス・イメージ、リーダーシップ、マーケティング、最新のビジネス動向、サービス業における事業革新、企業の社会的責任、顧客満足経営、財務指標と経営環境分析、経営数値計画、事業計画書の作成手順と評価法 2. 演習：事例研究、事業計画書作成、各講義における演習 3. 見学：事業所訪問(起業家、老舗企業、社会的事業、自由見学での市場調査) 4. 発表：ジョブ・レポート、事業計画	現職・資格・知識： ・家業等を継承することが予定されている者； ・自らが起業して事業を営んでいる者 ・現在、具体的な構想をもって起業を準備している者 経験年数：5年 年齢：21歳～50歳 学歴：大卒(相当) 日本語能力初級前半 通訳配置可能性有 日本語もしくは英語を読み、書き、話すことができること(講義は日本語、プレゼン資料は英語による。(日本語資料配付可))	一般財団法人海外職業訓練協会	西田 喜実子 e-mail: nishida.kimiko@ovta.or.jp Site: http://www.ovta.or.jp/

案件 No.	コース種別	コース名	人数	半期	開始	修了	①目標/②成果/③計画(内容)		一般社団法人 とかち地域活性化支援機構	連絡先
C7	集団	地域保健医療福祉一既存の社会資源を要介護高齢者へ活かす手法	8	下	2019/11/4	2019/12/4	①日本の地域における要介護高齢者へのケア及びシステムについて学び、自国の高齢者ケアの改善に資する。 ②1. 日本の高齢者医療及び認知症ケア、在宅ケアの歴史的背景と現状を理解し、自国の高齢者対策と比較できる。 2. 自治体、地域における高齢者ケアへの取り組みを理解し、自国と比較できる。 3. 自国の強みを列挙できる。 4. 高齢者施設の運営、管理について理解する。 5. 高齢者用住宅の利便性について理解する。 6. 高齢者に残されている力を使うケアについて理解し、応用できることを計画する。 7. 都心部と農村部で展開されている、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けるための包括的な地域医療(訪問医療・看護・リハビリ・介護等の包括的な展開)を理解する。 8. 介護予防技術について理解する。 9. 住み慣れた地域、家族と暮らしながら終末期を迎えるため「看取りのケア」についてシステム、環境づくりについて学ぶ。 10. 認知症ケアについて学ぶ。 ③2日間: JICA横浜…総論的研修(日本の保健行政、医療保険、介護保険、高齢者ケア施設の機能) 3日間: 東京…都市型の高齢者ケア(東京都長寿医療センター、健和会医療グループ) 2週間: 長野県佐久市・上田市(佐久大学、JA長野厚生連佐久総合病院をはじめとする医療機関、JA長野福祉会ローマンうたを中心とする各種の介護保険サービス提供事業所)まとめ、閉講式 2日間: JICA横浜	非日系対象受入コース 現職・資格・知識: ・医療分野(医師、看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等); ・保健分野(高齢者のデイケアや健康増進プログラムのマネジャー等。資格は問わない); ・福祉分野(ソーシャルワーカー、高齢者施設のマネジャー等。資格は問わない); ・日系関連団体の施設等を活用して、高齢者が集まるサロンやデイサービス等を企画、運営する意欲のある人(資格は問わない); ・老年学を学ぶ大学院生 経験年数: 2年 年齢: 21歳～50歳 学歴: 大卒(相当) 日本語能力初級後半 通訳配置可能性有 日本語能力: 日本語能力試験N3～N4程度(高齢者とあいさつ程度ができる)、日本語が乏しい場合は 日常的な英語を理解できること。	学校法人佐久学園 佐久大学	東田 吉子 e-mail: y-tsukada@saku.ac.jp http://www.saku.ac.jp/
C8	集団	農村女性の能力向上と組織的な事業活動のしくみづくり	10	下	2020/1/13	2020/2/15	①農村女性による起業事例、様々な形態の生産組織、生産部会、法人・企業の取り組みの考察を通じて、現状の営農活動の強化のみならず付加的な事業活動創出につながる方向性を探る ②1. 日本での農村女性起業事例の考察に基づいた起業のために必要な要素、事業につながるアイデア、事業管理手法とリーダーシップが習得され、個々の能力が向上される。 2. 生産法人、民間企業、農協、農協の生産部会活動の事例考察による組織的な生産・販売の手法が習得され、組織的な女性による経済・生活活動につながる。 ③1. 講義: ①農村女性による起業の取り組みの状況～農村女性起業の事例紹介、起業のための手法、関連する制度等、②組織的な農業生産・販売の取り組み～日本の総合農協の取り組み、特に営農指導事業(生産支援)と経済事業(購買・販売)、組織的な販売事業の要素としての生産部会の組織運営と活動、農協の女性組織(女性部)の活動、③品質、安全な農産物生産に関わる営農技術、④農村工業及び農業の6次産業化 2. 見学: ①農村女性起業事例及び「農業女子プロジェクト」事例としての農業に関わる若手女性の農業への取り組み、②農産物販売及び農産物加工に関わる様々な組織の取り組み～生産法人、農協、生産部会、農産物加工関連業者、③農協女性部の活動現場～単位農協の下にある組織の活動を中心に、女性組織の活動と関わる地域社会における組織・施設・機関等 3. 意見・情報交換: ①農村女性(農家)、起業家、生産法人、民間企業、及び女性組織の代表との意見・情報交換、②農協全国女性大会への参加を通じた様々な活動への取り組みについての情報収集と意見交換 4. 発表; 研修最終日	現職・資格・知識: ・現在、農業に関わっている者、または今後、農産物加工事業、ツーリズム等、付加的な事業を立ち上げようと考えている者 ・起業に関心をもち、計画している者 経験年数: 不問 年齢: 21歳～50歳 通訳配置可能性有	一般財団法人アジア農業協同組合振興機関	中嶋 透 e-mail: nakashima-idaca@j.ee-mail.ne.jp site: www.idaca.or.jp
C10	集団	ソーシャルビジネスと日系団体運営管理	6	下	2019/9/29	2019/10/31	①ソーシャルビジネスに関する知識およびソーシャルビジネス的手法を用いた日系団体による地域活性化のための新規事業計画の作成; ②1. 非営利団体の運営管理手法に関する知識 2. 日本人移住の歴史及び日系社会支援の変遷に関する知識及び知識普及のための技術の習得 3. 現代日本事情及び日本伝統文化に関する知識の習得 4. 事業計画作成に関する知識・技術の習得; ③1. 講義: 日系関連事業、日系団体に関する講義/非営利活動、ソーシャルビジネスに関する講義/ビジョン・ミッション論/モチベーション管理/リーダーシップ論 2. 演習: 社会的課題発見手法/問題解決手法/新規事業作成手法 3. 見学: ソーシャルビジネス現場視察/在日日系コミュニティ支援/海外移住関連施設 4. 演習: 日本文化行事企画/ファシリテーション手法	現職・資格・知識: 日系団体等(日系農協および日系団体下部組織を含む)非営利団体に所属する者 経験年数: 1年 年齢: 21歳～50歳 学歴: 大卒(相当) 日本語能力初級前半 通訳配置可能性有	公益財団法人海外日系人協会	水上 貴雄 e-mail: kenshu@jadesas.or.jp Site: http://www.jadesas.or.jp/
C11	集団	食を通じた日系団体婦人部活性化	6	下	2020/1/13	2020/2/14	①食を通じた地域活性化のための婦人部活動に関する知識を習得する。 ②1. 日本食を中心とした調理技術を習得する。 2. 食を通じた特産品の開発、地域おこし等の地域活性化に関する知識を習得する。 3. 所属団体が抱える課題解決手法を習得する。 ③1. 講義: 日系社会と婦人部活動、日本の非営利活動等 2. 視察: 先進農協、地域団体他 3. 実習: 調理実習等	現職・資格・知識: 日系団体婦人部の部員 経験年数: 1年 年齢: 21歳～60歳 日本語能力初級前半 通訳配置可能性有	公益財団法人海外日系人協会	水上 貴雄 e-mail: kenshu@jadesas.or.jp Site: http://www.jadesas.or.jp/

案件 No.	コース種別	コース名	人数	半期	開始	修了	①目標/②成果/③計画(内容)	一般社団法人 たち地域活性化支援 機構	連絡先
C12	集団	幼児教育と日本文化活動	6	下	2019/12/1	2020/1/31	①幼児教育に関する知識・技術および幼児期における日本文化(伝統文化・サブカルチャー)活動を含む継承日本語教育の方法に関する知識・技術を習得する。 ②1. 講義、実習をとおして幼児に対する指導技術を習得する。 2. 継承日本語教育の基礎的な概念、知識を習得する。 3. バイリンガル教育、発達心理学の基礎的な知識を習得する。 4. 日本の伝統的文化及びサブカルチャーに関する知識を習得する。 ③1. 講義教育の原理と方法、運動と子ども、絵本と子ども、日本の年中行事、自然と子ども、食育と子ども、日系社会と幼児教育、伝統文化とサブカルチャー等 2. 実習:民間幼稚園での教育実習 3. 視察:幼児教育施設、バイリンガル校 4. 発表:講師および実習園、研修最終日	公益財団法人海外日系人協会	水上 貴雄 e-mail: kenshu@jadesas.or.jp Site: http://www.jadesas.or.jp/
C14	集団	日系継承教育(教師育成Ⅱ)	6	下	2019/12/1	2020/2/21	①継承教育に関する基礎的な知識(ことば、文化、歴史(移住学習を含む))および指導技術を習得する。 ②1. 継承教育・言語(発達)教育の応用理論を理解し、実践方法を習得する。 2. 継承教育におけることばに関する知識および指導技術を習得する。 3. 初級コースのコースデザイン方法を習得する。 4. 文化的活動の指導計画作成方法および指導技術を習得する。 ③1. 講義: ①継承日本語教育・言語(発達)教育の応用理論 継承語教育と地域・社会/言語習得・発達(子どもの発達と教育、個人史、継承教育の実践と方法) ②継承教育とことば ことばの教育(年少者向け日本語授業の研究・技能別指導法・対象年齢別指導法・評価法) ③継承教育と文化 ことばと文化活動(文化活動・日本文化の体験学習・伝統文化とサブカルチャー) 2. 視察:外国人学校、日本文化施設など 3. 演習	公益財団法人海外日系人協会	水上 貴雄 e-mail: kenshu@jadesas.or.jp Site: http://www.jadesas.or.jp/
C19	集団	着物を通じた日系社会活性化	6	下	2019/11/4	2019/12/18	①研修員が、着物に関する一般的知識並びに、活用・普及および管理・保存に関する知識、技術を習得する。 ②1.着物に関する一般的知識(歴史、役割、素材等)を習得する。 2.着物の活用・普及に関する知識・技術を習得する。 3.着物の管理・保存に関する知識・技術を習得する。 ③1.着物に関する一般的知識(歴史、素材等)の習得 【講義】歴史と構造/思想と製法/帯・小物の役割、種類/地方性や季節と着物など 【視察】反物工場/シルク博物館/織物博物館(関東・関西)など 2.着物の活用・普及に関する知識・技術の習得 【講義】浴衣・着物イベント/着物と日本文化のコラボ/マナー/着物ビジネス 【演習】着付け/イベント企画運営 【視察】西陣会館/着物活用ビジネス現場 3.着物の管理・保存に関する知識・技術の習得 【講義】和裁・柄あわせとは/和紙文化/防湿・防虫・収納・虫干・畳み方 【演習】運針/浴衣製作/帯リサイクル 【視察】洗い張り	公益財団法人海外日系人協会	水上 貴雄 e-mail: kenshu@jadesas.or.jp Site: http://www.jadesas.or.jp/
C21	集団	太鼓の指導者育成	6	下	2020/1/13	2020/3/27	I. 研修員が、長野県岡谷市において研鑽を重ねながら、講習会開催時には開催地へ赴き、受講した後に指導員としての認定を目指すこととする。また、日本太鼓の技術を向上させるのみならず、太鼓の製造過程を見学すると共に可能な限り、製造技術を習得する。併せて、ジュニアコンクールの運営に関わるることによって、太鼓の事業運営のノウハウを学び、自国での太鼓事業開催に活かすこととする。 II. ①研修員が日本太鼓について並びに日本太鼓資格認定制度の全体像の理解を深める。 ②研修員の太鼓指導者としての資格取得の可能性が増大する。 ③研修員が太鼓の製造過程を体験することができる。 ④研修員が帰国後に指導員として南米における太鼓指導が可能となる。 ⑤研修員が帰国後に太鼓製造に関してもアドバイスが可能となる。 ⑥研修員が日本の太鼓事業に参加し、実践経験を積むことで自国における活動に活かされる。 III. ①太鼓の技術研修:全国各地の日本を代表する太鼓チームにおいて、技術を習得する。 ②日本太鼓全国講習会及び支部講習会に講習内検定として参加し、指導員としての資格取得に挑戦する。 ③障害者に対する太鼓の指導法を研修する。 ④日本の太鼓製造工場において、製造過程を見学しながら可能な限り体験実習することにより太鼓の製造方法を学ぶ。 ⑤太鼓公演を可能な限り見学し、スタッフとして参加することにより、事業運営を研修する。	公益財団法人日本太鼓財団	小山 e-mail: koyama@nippon-taiko.or.jp http://osuwadaiko.com/home/

案件 No.	コース 種別	コース名	人数	半期	開始	終了	①目標/②成果/③計画(内容)	一般社団法人 とうち地域活性化支援 機構	連絡先
C22	集団	日系団体青年部等の担い手育成のための日本文化研修	6	下	2020/1/13	2020/1/28	①研修員が、自国の日系団体の中核的存在として当該団体の活動を活性化させるために必要な日本文化等を習得する。 ②1.日本の伝統芸能の基礎を習得する。2.日本料理、郷土料理の基礎を習得する。3.自国の日系団体における日本文化を用いた活動計画を作成する。 ③1.講義、実習 伝統芸能:当該伝統芸能の鑑賞、講義、実習。 郷土料理:料理教室等での指導、実習。 2.視察:県内の自然、文化施設等。 3.計画づくり:グループワーク～所属する日系団体での継続的な活動計画の作成。	島根県	美藤 圭介 e-mail: bito-keisuke@pref.shimane.lg.jp site: http://www.pref.shimane.lg.jp/
C24	集団	日本の経営管理における人材育成	10	下	2019/9/29	2019/10/20	①「従業員を育成し、大切に経営」を実践している会社は、一般の会社とどこが違うのか、なぜそのような経営が業績にも結びつくのかなどを研修員が理解し、優良企業の「経営管理手法」「人材育成の仕方」など具体的に即実践可能な経営ノウハウを習得し、実践計画を作成する。 ②1.研修員が「従業員を育成し、大切に経営」を実践している会社の強みを理解することで自国企業との差異を認識し、改めて「自社の強み」を明確にすることができる。 2.研修員が実践企業の実態を徹底研究することで、「経営理念の浸透方法」や「従業員とのコミュニケーションの取り方」、「人材育成を中心とした社内の仕組みづくり」、「5S」をベースにした「生産・品質管理技法」など「経営管理」の方法を習得する。 3.講義や実践企業の実例を参考に、研修員が自国で活用可能な制度や仕組みや経営の考え方を整理する。 4.研修員が、帰国後の具体的な実践計画を作成する。 ③1.講義・討議:「従業員を大切に経営とは」「経営理念の浸透方法」「人材育成を中心とした社内の仕組みづくり」 2.視察・懇談:「従業員を育成し、大切に経営」を実践している中小企業4社を徹底研究(ケース・スタディ)(視点)「お客様から感謝される経営・5Sをベースとした生産・品質管理技法・従業員が働きやすい職場づくり・従業員とのコミュニケーションの取り方等」 3.日本文化理解:日本庭園「栗林公園」散策 4.演習:「実践計画」作成 5.発表:「実践計画」発表	特定非営利活動法人グローバル四国	河内 正則 e-mail: kawa-family@mx8.tiki.ne.jp
C25	集団	農産物加工産業の振興とブランド化	10	下	2020/1/13	2020/2/4	①研修員が、農産物加工産業の振興ならびにブランド化に必要な知見と関係者の連携体制の仕組みづくりの方法を習得する。 ②1.研修員が日本の地方で盛んに取り組まれている「農産物加工産業の振興」に対する関係者(生産者・加工事業者・行政)の連携方法について理解する。 2.研修員が実践企業の実態を徹底研究することで、「成功の秘訣」や「経営ノウハウ」などを習得する。 3.講義や実践企業の実例を参考に、研修員が自国で活用可能な手法や仕組みづくりの仕方を習得する。 4.研修員が、帰国後の具体的な実践計画を作成する。 ③1.講義・討議:「香川県における農産物加工振興の現状」「生産者・加工業者・行政の連携」「地域発のブランド化」等 2.視察・懇談:独自の取り組みを実践している中小事業者4社を徹底研究(ケース・スタディ)(視点)「新商品開発・販路拡大・ブランディング・マーケティング・デザイン力」等 3.日本文化理解:「さぬきうどんづくり」体験、日本庭園「栗林公園」散策 4.演習:「実践計画」作成 5.発表:「実践計画」発表	特定非営利活動法人グローバル四国	河内 正則 e-mail: kawa-family@mx8.tiki.ne.jp
C26	集団	小規模食品ビジネスの開発(食の安全:調理と管理・製品開発と販売促進・ビジネスモデル開発のためのバックキャストイング)	20	下	2019/12/1	2019/12/26	I. A)食品ビジネスのビジネスモデルを作成できる B)食の安全および関連する問題を理解する C)現地の健康的な野菜や果物(抗酸化作用を有する、ポリフェノールを含む、など)を有効活用した新規商品開発の方法がわかる D)クールジャパンが推進する日本の文化・食品・ブランド力をどう活かして、顧客をグローバルな食品ビジネスに惹きつけるかがわかる E)あまり活用されていないリソース(高齢者)を活用できる F)自己の参加、プログラムの利益と得たものについての自己分析ができる II. A)食の安全をいかに達成し、健康に有益な商品をいかにプロモーションするか B)「新たな」現地の味のフュージョン食品の商品開発 C)あまり活用されていないリソース(高齢者)の活用スキル D)新規食品ビジネスのソーシャルメディアを通じたプロモーション III. 1.講義:成功する(特に小規模)食品ビジネスモデル、食品汚染の主要な原因の理解とその予防、HACCP、日本の食品が海外でどのように用いられ、プロモーションされているか、目標達成のためのビジネス計画の立て方、現地のまたは伝統食における主要な健康的特性、食品ビジネスをプロモーションするためのソーシャルメディア活用、日本食のフレーバーとフュージョン食品のための味の融合、消費者の嗜好を知るための消費者の官能試験(リッカート法による好ましさのテスト) 2.実習:日々のオペレーション、管理の課題、安全な食品管理、調理と貯蔵(温度)、調理環境の影響、麺作りの技法、新規食品の作り方 3.見学:うどんの生産、屋上の労働環境 4.演習:研修生の出身国やその日系社会における課題を分析し、日本文化や日本の食品(安全)と現地のリソースを用いて、ソリューションへの道筋を探索する 5.発表:研修成果(香川大学内およびJICA内) 討議:評価会	香川大学	Lutes Peter Gerald e-mail: plutes@ag.kagawa-u.ac.jp http://www.ag.kagawa-u.ac.jp

案件 No.	コース 種別	コース名	人数	半期	開始	修了	①目標/②成果/③計画(内容)		一般社団法人 とかち地域活性化支援 機構	連絡先
C34	集団	「和食」ビジネス振興	8	下	2019/11/4	2019/11/28	①「和食」ビジネスの起業・振興能力を身につけ、起業・振興計画が策定・実行される。 ②1.和食文化・背景を理解し、和食についての広い知識を習得する。 2.ビジネス振興のための実践能力を習得する。 3.「和食」ビジネス起業・振興のためのアクションプランが作成できる。 ③1.日本食品の体験・視察(食材・調味料・味噌・醤油等、日本料理→郷土料理・蕎麦料理等) 2.日本食品関連経営・事業家能力向上に関する講義(農業の六次産業化、日本型経営、顧客満足経営、人財育成・コーチング、経営・マーケティング戦略、産学官連携) 3.他 日本食品関連の調査・視察(北九州市市場調査、食器、食品廃材利用等)	現職・資格・知識: 日本食品関連の日系事業家および起業家、 日本食品関連日系コンサルタント 経験年数:3年以上 年齢:21歳～50歳 学歴:特に指定なし 日本語能力初級後半 他言語:通訳配置可能性有 教材:日本語、英語	公益財団法人 北九州国際技術協 力協会	三木 義男 e-mail: y-miki@kita.or.jp http://www.kita.or.jp
C35	集団	日本のモノづくり技術	8	下	2020/1/13	2020/2/6	①日本のモノづくり技術をベースとした企業の生産性向上のための戦略的計画が策定される。 ②1.日本のモノづくりの要件を理解する。 2.日本的な品質管理、生産性管理技術や方策を習得する。 3.日本的な生産保全、設備保全技術や方策を習得する。 4.上記を統合しQ.C.D(Quality, Cost, Delivery)向上のための戦略的計画能力が身につく。 ③1.講義:日本のモノづくり(文化、思想、考え方) 2.講義・実習: 日本的な品質管理・生産性管理 (不良品をださない現場、現場の活性化、ロスの排除 など) 生産保全・設備保全 (保全管理技術・技能、設備診断技術、設備改善による予防保全 など) 3.見学・事例研究:5S、KALZEN実践工場、先端技術工場 など 4.問題解決の進め方(アクションプラン作成)およびプレゼンテーションのやり方	現職・資格・知識: 製造企業、業界団体に所属している製造管 理・監督者、普及指導者 経験年数:3年以上 年齢:21歳～50歳 学歴:特に指定なし 日本語能力初級後半 他言語:通訳配置可能性有 教材:日本語、英語	公益財団法人 北九州国際技術協 力協会	中島 康紀 e-mail: nakashima@kita.or.jp http://www.kita.or.jp
C36	集団	環境・防災リーダー養成	6	下	2019/11/4	2019/11/29	①研修員が、それぞれの地域における環境・防災リーダーとしての活動するための知識を習得する。 ②1.地球温暖化や大気汚染など大気に関する環境問題のメカニズムや生物への影響等についての知識が習得される。 2.水環境の汚染と対策、水資源にかかわる諸課題と対策についての知識が習得される。 3.日々の生活に密接にかかわる地域環境問題とその解決策についての知識が習得される。 4.研修員が、自らの地域が抱える環境問題や災害について考え、帰国後の行動計画を作成する。 ③1.講義:①大気環境(地球温暖化、大気汚染、生物影響、オゾン層破壊) ②水環境(上下水道、水質分析、水質汚染、水資源管理) 2.視察:①島原半島ジオパーク(湧水、火山災害、砂防施設、雲仙普賢岳、温泉バイナリー発電所、他) ②長崎市(斜面地、都市景観、地域資源の保全と活用、他) 3.発表:学内で実施	現職・資格・知識:特に指定なし 経験年数:不問 年齢:21歳～50歳 学歴:特に指定なし 日本語能力初級後半 他言語:英語、他言語は、対応不可。 日本語能力:N4以上	国立大学法人 長崎大学	馬越 孝道 e-mail: umakoshi@nagasaki- u.ac.jp site: http://www.nagasaki- u.ac.jp/
C37	集団	沖縄のツーリズム・ストラテジー	10	下	2020/1/13	2020/2/29	① 自らのターゲット旅行者のニーズに対応した観光商品づくりや販売について戦略案がまとまる; ②1.沖縄の観光の現状が理解される 2.マーケティングやブランディングの基本が理解される 3.自らが携わる観光の課題を把握し、対応策の案がまとまる; ③1. 講義:沖縄観光の概要、マーケティングの基礎、沖縄観光のマーケティング、沖縄観光のブランディング、地域ブランディング、様々な事例紹介 2. 実習:マーケティングの基礎、那覇市内の観光実態調査、沖縄観光のマーケティング、沖縄観光のブランディング、地域ブランディング、国際通りでの聞き取り調査、様々な観光プログラム体験 3.視察:首里城、おきなわワールド、東村の観光資源 4.演習:プロジェクト・サイクル・マネジメント(課題の分析から解決手段の提案)、分析結果の発表と討議 5.発表:内部および旅行関係者	現職・資格・知識: ・観光業に携わっている者。・英語ができればなおよい。 経験年数:2年 年齢:21歳～50歳 学歴:大卒(相当) 日本語能力:日常会話程度 他言語:通訳配置可能性無	特定非営利活動法 人 おきなわ環境クラブ	立田 亜由美 e-mail: kokuba@npo- oec.com http://www.npo-oec.com/
C38	集団	伝統沖縄剛柔流空手道	10	下	2019/9/29	2019/11/12	①・礼に始まり礼に終わる伝統沖縄空手を修練することにより、心身の錬磨につとめる。 ・伝統沖縄剛柔流空手の正統な基本と型を学ぶ。 ②1.伝統型を繰り返し修練することで心身の鍛練となり、空手の奥義に近づける。 2.伝統型と型分解を学ぶことで護身術が身につく。 3.沖縄剛柔流の基本型である三戦を修練することで呼吸法を身につけ、心体を壮健にできる。 4.補助運動(チーン、サーン、握り蓮等)を行うことでより一層身体を強化できる。 ③1.沖縄剛柔流空手の正しい歴史の講義 2.準備運動、基本運動、補助運動(器具を用いる)、正確な型の指導 3.沖縄空手会館の訪問(資料室の閲覧等) 4.各研修者によるサマリーレポートの発表	現職・資格・知識:特になし 経験年数:不問 年齢:21歳～50歳 学歴:特になし 日本語能力:日常会話程度 他言語:通訳配置可能性無	一般社団法人 国際 沖縄剛柔流空手道 連盟	蔵元 雅一 e-mail: kuramoto@jogkf@bronze.ocn.ne.jp site: http://www.gojuryu.jp/

案件 No.	コース 種別	コース名	人数	半期	開始	修了	①目標/②成果/③計画(内容)		一般社団法人 とかち地域活性化支援 機構	連絡先
C39	集団	沖縄ルーツの再認識を通して学ぶソフトパワー活用と地域活性	15	下	2019/9/29	2019/10/19	①沖縄アイデンティティが強化され、沖縄のソフトパワーを活かした研修員所属日系地域の活性化が実践される。 ②1.ルーツとしての沖縄について理解が深まり、沖縄県人としてのアイデンティティが強化される。 2.地域のリーダーとして地域活性化のための企画力、実践能力が高まる。 3.沖縄県と研修員所属日系地域のウチナーネットワークが強化される。 ③1.講義・実習・視察 ・行政：沖縄県知事表敬、沖縄県の取組(「世界のウチナーンチュ大会」「世界のウチナーンチュの日」「沖縄21世紀ビジョン」等) ・歴史・文化：沖縄の歴史、伝統文化(琉球舞踊、エイサー、三線、空手等) ・平和：沖縄の戦後復興、平和教育、平和祈念資料館、平和の礎等 ・リーダーシップ研修：地域活性化(肝高の阿麻和利、地域活性化事業案作成等) 2.意見交換：県内の若手日系リーダー、市町村の青年会、WUB・WYUA等 3.演習：アクションプラン	現職・資格・知識： 沖縄県人会等沖縄にルーツのある日系人で、日本語学校関係者、教師、地域社会のリーダー、等 経験年数：3年 年齢：21歳～50歳 学歴：大卒(相当) 日本語能力：初級後半～中級 他言語： 通訳配置予定(スペイン語及びポルトガル語) 日本語能力：N4～N3程度	特定非営利活動法人レキオウイングス	串間 武志 e-mail: info@lequiowings.org http://lequiowings.org/
L13	長期	★ 日系医学Ⅱ	1	下	下半期いずれかで相談可	5か月以内	①医学における各専門分野の最先端技術に関する知識および技術を習得する； ②1. 各専門分野における最先端医療の知識向上 2. 各種医療器具の操作技術 3. 診断技術 4. 手術技法 5. 術後ケア 6. 研究ネットワーク構築； ③1. 臨床例による座学 2. OJTによる診断技術 3. 医療機器の操作技術 4. 手術見学 5. 現地の臨床例の研究・評価 6. 学会参加・発表	現職・資格・知識： 経験年数：1年 年齢：21歳～50歳 学歴：大学医学部卒 日本語能力初級前半 他言語： 英語での研修の実施を希望する場合は応相談 ※研修は担当医師の指導によるOJTにより実務研修を中心に実施される。ただし、原則、臨床修練制度を活用しない範囲とする。 ※大学等研修受入機関の内諾を得ていること	公益財団法人海外日系人協会	水上 貴雄 e-mail: kenshu@jadesas.or.jp site: http://www.jadesas.or.jp/
L15	長期	★ 日系歯学Ⅱ	1	下	下半期いずれかで相談可	5か月以内	①歯学における各専門分野の最先端技術に関する知識および技術を習得する； ②1. 各専門分野における最先端医療の知識向上 2. 各種医療器具の操作技術 3. 診断技術 4. 手術技法 5. 術後ケア 6. 研究ネットワーク構築；	現職・資格・知識： 経験年数：1年 年齢：21歳～50歳 学歴：大学歯学部卒 日本語能力初級前半 他言語： 英語での研修の実施を希望する場合は応相談 ※大学等研修受入機関の内諾を得ていること	公益財団法人海外日系人協会	水上 貴雄 e-mail: kenshu@jadesas.or.jp site: http://www.jadesas.or.jp/
L17	長期	★ 日系保健福祉Ⅱ	1	下	下半期いずれかで相談可	5か月以内	① 保健福祉における各専門分野の最先端技術に関する知識および技術を習得する； ② 1. 各専門分野における最先端医療福祉の知識向上 2. 各種医療器具等の操作技術 3. 診断技術 4. 指導技術 5. マネージメント 6. 研究ネットワーク構築； ③1. 各専門分野の最先端医療福祉の知識向上 2. 各種医療器具等の操作技術 3. 診断技術 4. 指導技術 5. マネージメント 6. 研究ネットワーク構築	現職・資格・知識： 経験年数：1年 年齢：21歳～50歳 学歴： 医療福祉分野の専門教育を受けている者またはそれに準ずる能力を有する者 日本語能力初級前半 他言語： 英語での研修の実施を希望する場合は応相談 ※大学等研修受入機関の内諾を得ていること	公益財団法人海外日系人協会	水上 貴雄 e-mail: kenshu@jadesas.or.jp site: http://www.jadesas.or.jp/
S3	短期	農協組織	2	下	2019/9/29	2019/11/8	① 1. 協同組合の理念や組織マネジメント等の知見を習得する 2. 北海道内のJAにおいて、営農指導業務等を体験、習得する； ② 1. 協同組合理念の重要性や協同組合の機能が理解され、農協組織が強化される 2. 日系社会における農協組織の重要性が理解される 3. 日系農協への営農指導・研修を担う人材を育成させるための課題が整理される 4. 北海道内の農協における営農指導業務のノウハウを習得できる 5. 農協組織における営農指導業務の重要性が理解される 6. 営農指導業務を定着・推進するための計画が策定される 7. 営農指導による農業振興や農家所得の向上が図られる 8. 農協組織の強化や農業振興を通じ、日系社会全体の発展が図られる； ③ 1. 講義 (1)協同組合の理念と営農指導全般 (2)農協組織の役割 (3)農協職員の資質向上 2. OJT 北海道内JAにおける営農指導業務全般	現職・資格・知識： 日系農協に対する指導・研修業務に従事する農協職員 経験年数：5年 年齢：21歳～50歳 日本語能力：N4以上	JA北海道中央会	営農指導支援センター 太田 慎太郎 e-mail: shintaro.oota@chuoja-hokkaido.gr.jp SITE: http://www.ja-hokkaido.jp/

案件 No.	コース 種別	コース名	人数	半期	開始	修了	①目標/②成果/③計画(内容)		一般社団法人 とかち地域活性化支援 機構	連絡先
S7	短期	環境教育指導者養成研修	2	下	2019/9/29	2019/11/28	① 環境教育指導者(インタープリター)として、必要な基礎技術と知識を取得する; ② 環境教育の概要を理解する。 ・インタープリテーション(定義、種類、原則、資質、素材の理解、対象の理解、コミュニケーション、プログラムデザイン等)の基礎知識を理解する。 ③ 1. 講義・実習:環境教育概論、インタープリテーション概論、日本の環境教育、ハケ岳の自然、森林療法プログラム、プログラム実施と相互評価、体験学習法、プログラムデザイン、スライドプログラム、月例観察会等 2. 実習:プログラムの準備・実施・評価(幼児・小学校・中学校・大人一般・シニア・親子) ※実習が研修の8割を占めます。日々の実践を体験しながら、その体験からの気づきから学びを深め理論と実践がつながるようにしていきます。 3. 見学:環境教育施設(ピジターセンター) 4. 発表:研修最終日	現職・資格・知識: 社会人として一般的な知識を持った心身ともに健康な方; 年齢:21歳~50歳 学歴:大卒相当(環境系・教育系いずれか) 日本語能力初級後半 他言語:英語対応不可 日本語能力試験N3以上	公益財団法人キープ協会	鳥屋尾 健 e-mail: ttoyao@keep.or.jp SITE: http://www.seisenryo.jp/ http://www.keep.or.jp/ http://www.seisenryo.jp/en/index.html
S9	短期	保健医療(高齢者介護)	1	下	2019/11/4	2019/12/3	① 施設での研修を通して日本式の介護を実践しながら、参加者がより質の高い介護が行えるようになる。 ② 1. 介護現場研修を通じ、日本と母国の介護技術の違いを観察し、必要な技術等を学ぶことができる。 2. 現場研修を通して、アセスメント結果に基づく適切な介護技術の適用が日本と母国でどのように違うのかを比較検討し、帰国後の業務に活用することができる。 3. 利用者の生活を看することで、生活観及び生活の営み方への共感、相手の立場に立って考えるという姿勢を持って業務に当たることの大切さを確実に意識化できる。 4. 帰国後、同僚や職員に対して研修の成果を伝える具体的な活動計画を立てることができる。 ③ 1. 現場研修1:実際の介護現場に入り、業務を体験することで、日本と母国の介護の異同を認識する。 2. 質疑応答:発見した相違点について研修担当者・施設職員等とのディスカッションを通じて、その根拠、理由などを明らかにする。 3. 現場研修2:2で得た知見をもとに介護現場で業務を行い、1の時点と現在とで、自己の中で何がどのように変化したかを内省する。	現職・資格・知識: 日系社会の高齢者介護施設の責任者; 経験年数:5年 年齢:21歳~50歳 日本語能力初級後半 日本語能力:日本語能力試験N3相当以上	医療法人敬歯会	中村 和弘 e-mail: nakamura@keishikai.jp SITE: http://keishikai.jp
S18	短期	中小企業連携促進のための企業法務	1	下	2020/1/13	2020/3/4	① 我が国の経済活動及び中小企業の海外進出に関する法的な知識が習得され、中南米地域で実践普及される; ② 1. 日本経済に関する知識の習得 2. 商法、会社法などの中小企業にまつわる法的知識の習得 3. 中小企業の海外進出に関する知識の習得; ③ 1. 経済、法律に関する講座、セミナーへの参加 2. 経済団体等関係団体へのインタビュー調査 3. 海外進出を希望する中小企業訪問	現職・資格・知識: 弁護士または行政書士資格 経験年数:1年 年齢:21歳~50歳 学歴:大卒(相当) 日本語能力:初級後半~中級 日本語能力試験N3~N2レベル	公益財団法人海外日系人協会	水上 貴雄 e-mail: kenshu@jadesas.or.jp site: http://www.jadesas.or.jp/
S20	短期	剣道	2	下	2020/1/13	2020/2/14	① 研修員が、母国における効果的な稽古および指導方法にかかる知識、技術および精神性を習得する。 ② 1. 日本での剣道の効果的な稽古方法、指導技術および精神性が理解される。 2. 剣道の精神性を理解した上で、効果的な稽古の方法を習得し、指導技術が向上する。 3. 母国で実施可能な効果的な稽古および指導手法が整理される。 4. 具体的な活動計画を作成する。 ③ 1. 講義:剣道連盟の組織運営、礼法、指導法、審判法等 2. 稽古:昼間:高等学校、大学および警察での稽古。夜間:道場での稽古 3. 見学:中学校の大会、全国大会予選会等の見学、防具の製造工程等の見学 4. 意見交換:剣道を通じた今後のブラジルとの連携について等 5. 発表:内部者対象、研修最終日	現職・資格・知識: 剣道4段 ・稽古の相手は20~30代前半を予定しているため、その稽古に耐えられる体力が求められる 経験年数:不問 年齢:21歳~30歳 学歴:不問 日本語能力:会話程度 教材:日本語	公益財団法人三重県国際交流財団	宇藤 美帆 e-mail: miho@mief.or.jp SITE: http://www.mief.or.jp/
S21	短期	医療(小児科)	1	下	2019/9/29	2019/11/3	I. 金沢大学小児科で得た知識や経験を駆使し当該地域一人一人の患者の全身状態、社会的特性に配慮しそれぞれに最適な医療を提供する計画を立て実行する能力の修得をもって目標への到達とする。 II. ① 研修員に、日本の小児医療、新生児医療の全体像が理解される。 ② 研修員に、日本の小児医療、新生児医療の技術・知見が習得される。 ③ 上記2項を基に、研修員により、自国で応用可能な技術・手法等が整理される。 ④ 研修員が帰国後の具体的な活動計画を作成する。 III. 1. 講義:①日本における小児医療、周産期医療の現状 ②乳幼児健診の実際 ③小児医療、新生児医療に必要な手技、手法 2. 実習:乳幼児健診、診療助、手技の見学 3. 演習:直面している問題を分析し日本の手法の適応を検討し、アクションプランに反映する 4. 学会・セミナー:計画中 5. 発表:内部	現職・資格・知識: 小児科専門医師であること(医師免許CRM取得済みであること) 経験年数:15年 年齢:不問 学歴:不問 日本語能力:中級程度 他言語:研修に耐えうる英語力	金沢大学附属病院	中川 尚之 e-mail: hosomu@adm.kanazawa-u.ac.jp SITE: http://web.hosp.kanazawa-u.ac.jp/index.html

案件 No.	コース 種別	コース名	人数	半期	開始	修了	①目標/②成果/③計画(内容)		一般社団法人 とかち地域活性化支援 機構	連絡先
S22	短期	医療(消化器内科)	1	下	2019/9/29	2019/11/3	<p>I. 金沢大学附属病院消化器内科で得た技術及び知識を踏まえ、所属する日系社会における消化器疾患に対する診療の問題点を抽出し、解決のための具体的な方策を立案、計画し、実行することができる能力の修得。</p> <p>II. ① 研修員に、日本における消化器疾患診療の概要が理解される。 ② 研修員に、日本の消化器疾患診療の技術・知見が習得される。 ③ 研修員により、自国で応用可能な技術・手法等が整理される。 ④ 研修員が帰国後の具体的な活動計画を作成する。</p> <p>III. ① 講義:炎症性腸疾患の内科的治療、早期消化管癌に対する内視鏡的治療、ウイルス性肝炎に対する抗ウイルス療法、肝細胞癌に対する内科的治療、進行消化器癌に対する化学療法、等 ② 実習:上下部消化管内視鏡検査・治療、腹部超音波検査・治療 ③ 演習:所属する地域社会における問題点の抽出、分析 ④ 研究会、学会、セミナー:計画中 ⑤ 発表:内部</p>	<p>現職・資格・知識: 内科専門医師であること(医師免許CRM取得済みであること)</p> <p>経験年数:15年 年齢:不問 学歴:不問 日本語能力:日本語能力検定試験1級程度 他言語:研修に耐えうる英語力</p>	金沢大学附属病院	<p>中川 尚之 e-mail: hpsomu@adm.kanazawa-u.ac.jp SITE: http://web.hosp.kanazawa-u.ac.jp/index.html</p>
S24	短期	日系アイデンティティ涵養・日系史教育教材作成演習(その2)	2	下	2019/9/29	2019/12/9	<p>① 「現地の中核となる日系文化継承教育者又は教師指導者」を対象に、研修員自らが日頃から抱える日系文化継承教育のための教材制作テーマに関する研修を行うとともに、日本の歴史や文化、社会的背景、現代日本の実情などについて体験を交えて深く理解する。また、研修により得られた成果を発表・公表し、当該国の日系文化継承教育のために活用することを目指す。</p> <p>② ・ 絵、漫画、動画など、日本(特に金沢を含む北陸地方)だからこそ入手可能な視覚教材資料の探索と収集 ・ 教材制作に関わる各種スキル(制作、編集、管理・更新方法など)の修得</p> <p>研修員の指導対象となる日系子弟を想定し、学齢児童教育や語学教育現場視察を通じた教育技能のスキルアップ</p> <p>・ 日本文化、日本史、現代日本の社会実情などについて、体験学習を交えた深い理解 ・ 研究成果のプレゼンテーション、あるいは研究レポートの日・西又は葡語での記述物 ・ 修得した技術や成果のインターネット活用による、研修員の母国の日系社会での広く効果的な還元;</p> <p>③ 1.講義:日本文化概論、日本史、日本文化史、日本社会概論、日本伝統芸能概論 2.実習:日本文化・社会プログラム、日本伝統芸能演習、等 3.</p> <p>見学:人間社会学域学校教育学類附属学校、放送大学、石川県を始めとした北陸各地の文化施設訪問(美術館、博物館、等)、(必要に応じて)研修員の研修内容に関わる地域への研修旅行 4.学会・セミナー:(必要に応じて)研修員の研修内容に関わるものへの参加を検討 発表:学内またはJICA北陸支部で研修最終日に実施(閉講式も兼ねる予定)</p>	<p>現職・資格・知識: 次のいずれかの形で日系文化継承教育に携わるか、今後携わる可能性がある者: ・ 現地日系協会や日本人組織が運営する機関において日系子弟を対象とした日系文化継承教育または教材作成に携わる者・所属機関や当該専門分野における中堅の人物であること(公的な第三者による推薦があれば一層望ましい); ・ 具体的な希望教材制作テーマに関するアイデアを有していること; ・ パソコン(OS不問)及び電子メール送受信の基本操作が支障なくできること</p> <p>経験年数:3年 年齢:不問 学歴:不問 日本語能力:日本語能力試験N4以上 他言語: 担当指導教官が、ポルトガル語対応可能</p>	金沢大学	<p>太田 亨 e-mail: akirao@staff.kanazawa-u.ac.jp SITE: http://www-isc.kanazawa-u.ac.jp</p>
S27	短期	医療機器管理・メンテナンス	1	下	2020/1/13	2020/3/6	<p>I. 日本の医療現場における医療機器取扱いのルールを理解し、最先端医療機器の品質管理を保守の仕組みや使用方法を習得する。</p> <p>II. ①最先端医療機器の品質管理とメンテナンスの仕組みを理解する。 ②最先端医療機器の使用方法を理解する。 ③臨床工学技士による医療機器の患者への適用範囲を理解する。 ④帰国後、医療機器の品質管理や保守を担当している職員のためのベンチマーキングを行う。</p> <p>III. 医療機器のマネジメントに関する講義と先端機器を用いた医療現場の見学を行った上で、OJTによる研修計画を立てこれに沿って研修を進める。</p>	<p>現職・資格・知識: ・医療機器の管理や保守に関する業務等に携わっていること(帰国直後からの研修成果活用を期待するため)。 ・医療機器の取扱いについての知見や経験を有するもの。</p> <p>経験年数:5年 年齢:21歳～50歳(2019年4月1日時点) 学歴:高卒 日本語能力:日常会話が可能(詳細は備考欄を参照のこと) 多言語:通訳配置可能性無 教材:日本語</p> <p>日本語能力:本研修は、医療現場での実習、OJTが中心となることから、現場において状況に応じた意思疎通が図れる必要がある。また、研修先では医療や医療機器に関する専門用語等の使用なども想定されるため、日本語での日常会話ができるレベルの日本語能力が必要である。</p> <p>その他:事前に感染症にかかる抗体価検査を受け、必要に応じワクチン接種などの措置を講じること(所定の様式で抗体検査等の結果報告書を提出する必要がある)。</p>	滋賀県立総合病院	<p>大上 裕樹 e-mail: nb01@pref.shiga.lg.jp SITE: http://www.pref.shiga.lg.jp/e/kensou/</p>

案件 No.	コース 種別	コース名	人数	半期	開始	修了	①目標/②成果/③計画(内容)	一般社団法人 とかち地域活性化支援 機構	連絡先	
S28	短期	環境教育リーダー養成研修(都市型環境教育)	2	下	11/4 or 1/13	12/3 or 2/11	<p>I. 研修員が、現地日系社会に適応可能な、市民等の環境意識を啓発する環境教育実践の知識及び技術を習得すること。また、現地日系社会の様々な人的・社会的資源を活用しながら、市民や他の組織との協働による環境教育推進の視点を獲得すること。</p> <p>II. ①環境教育の基本的な知識(歴史や手法、考え方等)が理解される。</p> <p>②環境教育実践のための知識と技術が習得される。</p> <p>③多様な人的・社会的資源を活かし、市民社会における環境教育を推進する視点を獲得。</p> <p>④上記3項を基に、研修員が自国で応用できる知識と技術が整理される。</p> <p>III. 1. 講義 環境教育の歴史・考え方、体験学習法、環境教育における市民参画、ワークショップの理論と技法、プログラムデザイン/企画/評価</p> <p>2. 実習・OJT 京エコロジセンターの来館者への環境教育プログラムの実施や展示解説(インタープリテーション)の実施(来館者対応あり)</p> <p>子どもから大人を対象とした環境教育プログラムの企画・実施・評価</p> <p>地域コミュニティ等での市民参画による環境保全活動・環境教育コーディネート</p> <p>3. 見学 他の環境教育施設または環境NGO等の環境教育の取り組み、市民参画で環境教育を推進している取り組みや仕組みについて視察</p> <p>4. 演習 当該地域の抱える環境問題及び環境教育の課題を分析した上で、様々なリソース(人的資源、社会的資源)を巻き込み環境教育を推進していくためのアクションプラン作成</p> <p>5. 発表 「4. 演習」で作成したアクションプランについて発表をする。それに対し関係者・学識者よりフィードバックを行い、より実現可能なものに高める。</p>	<p>現職・資格・知識: ・環境教育に携わっている、または携わる意思があること。 ・教育分野に携わった経験があることが望ましい</p> <p>経験年数: 特に定めない 年齢: 21歳～50歳 学歴: 大卒(相当) 日本語能力: 日本語能力試験N3程度(会話力重視) 通訳配置可能性無</p> <p>教材: 日本語or英語 *本研修は、実習・OJTが中心となり、子どもをはじめとした来館者等とのコミュニケーションが必要のため、対応のコミュニケーション力が必要になる。</p>	公益財団法人 京都環境保全活動推進協会	富田 知未 e-mail: tomita@miyako-eco.jp SITE: https://keaa.or.jp/
S29	短期	日本の防災対策	2	下	2019/9/29	2019/11/4	<p>① ソフト的防災対策であるハザードマップや防災訓練、日本の防災行政や地域の自主防災組織が理解される。また、ハザードマップの作成技術が習得される。</p> <p>② 1.日本のソフト的防災について理解が深まる。2.日本の防災行政の全体像が理解される。3.自国で応用可能なハザードマップ作成手法が身に付く。</p> <p>③ 1.講義:日本の自然災害事情、防災法整備、ソフト防災について。2.見学:山口県防災危機管理課、宇部市総務課、山口県内被災現場、アジア防災センター他。3.実習:山口県内を対象にハザードマップの作成</p>	<p>現職・資格・知識: 防災に従事していることが望ましい。または、防災に強い関心のある方。</p> <p>経験年数: 不問 年齢: 21歳～50歳 学歴: 大卒(相当) 日本語能力:N4レベルが望ましい(英語でコミュニケーションが出来れば問題ない)</p>	山口大学	斉藤 康平 e-mail: sh031@yamaguchi-u.ac.jp SITE: http://www.yamaguchi-u.ac.jp/
S30	短期	食用きのこ栽培研修	3	下	11/4 or 12/1	12/1または12/29	<p>① 原木シイタケ等のキノコ類の良品生産技術の習得。</p> <p>② 1.種菌・菌床の作製、2.良品生産技術(原木シイタケ・菌床とホダ木の管理法、各種キノコ・施設管理法等)、3.収穫作業、4.乾燥技術(原木シイタケ、アラゲキクラゲ)、5.選別作業。</p> <p>③ 1.原木シイタケ栽培:施設内と露地での発生操作や収穫を行うとともに、高品質な原木シイタケを生産する菌床およびホダ木の管理法を研修する。2.各種きのこ:エリンギ、アラゲキクラゲ等の種菌・菌床の作製技術を行うとともに、発生施設の管理法を研修する。また、鳥取県内のキノコ生産施設の視察を行う。</p>	<p>現職・資格・知識: これから食用きのこの栽培について積極的に活動していこうとする意志を有する者。</p> <p>経験年数: 不問 年齢: 21歳～50歳 学歴: 大卒(相当) 日本語能力:N3以上(日常会話程度以上)</p>	一般財団法人 日本きのこセンター	寺島 和寿 e-mail: kin-ters@infosakyu.ne.jp SITE: http://www.kinokonet.com/
S31	短期	理学療法(作業療法)による機能回復訓練	1	下	2019/9/29	2019/11/22	<p>① 障害者を対象として、小児から成人まで、様々なアプローチからのリハビリ訓練の手法を習得する。</p> <p>② 理学療法(作業療法)の様々なアプローチからのリハビリ訓練に関する手法。</p> <p>③ 障害者を対象として、成人(または小児)に対する理学療法(作業療法)による機能回復訓練の現場での実習を通じて、訓練の流れやシステム、疾患別アプローチを学ぶ。</p>	<p>現職・資格・知識: 理学療法又は作業療法士の資格・経験のある者が望ましい(自国での資格で可)。</p> <p>経験年数: 不問 年齢: 21歳～50歳 学歴: 大卒(相当) 日本語能力:N2以上</p>	(公財)ひろしま国際センター	永島 実緒子 e-mail: hicc12@hiroshima-ic.or.jp SITE: http://hiroshima-ic.or.jp/
S33	短期	伝統文化(神楽)の継承による日系社会の活性化	3	下	2019/9/29	2019/11/14	<p>① 演舞や道具類などの神楽技術の個別指導、効率的な神楽イベントの企画管理運営技術、後継者を指導・育成する技術を習得する。また、現地での神楽イベントを通じ、日系社会全体の連携と共同意識を高め、日系社会を支えていく担い手としての活躍を目指す。</p> <p>② 1.広島神楽(新舞)の演舞の技術の習得、2.口上(セリフ)、音曲の技術の習得、3.大道具、小道具の作成・修理技術の習得、4.神楽イベントの企画・管理・運営技術の習得。</p> <p>③ 1.神楽の基礎、歴史についての講義、2.広島神楽(新舞)の実技指導、3.神楽公演や関連イベントの開催補助実習(管理運営ノウハウの習得)。</p>	<p>現職・資格・知識: 神楽等の伝統芸能活動経験1年以上。</p> <p>経験年数: 1年 年齢: 21歳～50歳 学歴: 医学部 日本語能力:N3以上(日常会話程度以上)</p>	(公財)ひろしま国際センター	永島 実緒子 e-mail: hicc12@hiroshima-ic.or.jp SITE: http://hiroshima-ic.or.jp/
S36	短期	早期胃癌の内視鏡診断と治療	1	下	下半期いずれかで相談可	11/2、12/7、1/5、2/15	<p>① 世界トップレベルの日本の内視鏡診療の現状を把握し、最新機器を用いた早期胃癌の発見法と治療法を学ぶ。</p> <p>② 1.日本の内視鏡診療で用いる機器や知識を習熟できる</p> <p>2.ブタ切除胃を用いた治療内視鏡のシミュレーション学習により、治療内視鏡の技術とコツを学ぶ</p> <p>3.帰国後の自国における具体的な活動計画を作成する</p> <p>4.インターネットを用いて日本と自国の遠隔医師教育講座を開催し、継続的な医療教育を行うことで自国における早期胃癌の診療レベル向上に寄与する。</p> <p>③ 1.講義:最新の内視鏡診断や内視鏡治療に関する論文の討論会への参加</p> <p>2.見学:九州大学病院および関連施設における内視鏡検査の見学と討論</p> <p>3.実習:ブタから切除した臓器を用いた内視鏡治療の実習</p> <p>4.学会参加:日本消化器内視鏡学会や日本消化器病学会を中心とした学会、研究会への参加</p> <p>5.発表:医学部内で研修内容を発表</p>	<p>現職・資格・知識: 医師(内視鏡経験者)</p> <p>経験年数: 臨床経験10年以上 年齢: 21歳～55歳(ベテラン) 学歴: 医学部 日本語能力:不問 推奨: 日常会話 他言語: 技術研修は英語対応可。</p>	国立大学法人 九州大学	森山 智彦 e-mail: morimori@intmed2.med.kyushu-u.ac.jp SITE: http://www.imed.med.kyushu-u.ac.jp/en/index.html

案件 No.	コース 種別	コース名	人数	半期	開始	修了	①目標/②成果/③計画(内容)		一般社団法人 とうち地域活性化支援 機構	連絡先
S37	短期	グリーンツーリズム	2	下	2019/9/29	2019/10/29	① 研修員がグリーンツーリズムについての知見を習得する; ② 1.グリーンツーリズムの意義について理解する 2.グリーンツーリズムの具体的な事例、経営ノウハウについての知見を得る 3.日本におけるグリーンツーリズムの事例を参考にして研修員が自国で実施可能なアイデアを得る 4.研修員が帰国後の具体的な実践計画を作成する; ③ 1.講義:グリーンツーリズムの意義、日本(鹿児島)におけるグリーンツーリズムの現状と課題、農村女性の活用、グリーンツーリズム経営とリスクマネジメント、環境保全 2.実習:グリーンツーリズムの事例(農業体験、農産物加工体験、自然体験、農家民泊) 3.視察:グリーンツーリズム関連施設、観光施設 4.意見交換:グリーンツーリズム実践者、関係者との意見交換 5.発表:研修成果発表	現職・資格・知識: 農山漁村に関わりを持ち、グリーンツーリズム実践を目指している人 経験年数: 不問 年齢: 21歳～50歳 学歴: 特に指定なし 日本語能力: 中級以上 他言語: 英語、他言語は、対応不可。	共同事業体 鹿児島国際交 流協力センター	酒井 マリ e-mail: kaptic117@po3.synapse.ne.jp SITE: http://kaptic.jp
S38	短期	農産物加工とマーケティング	2	下	2019/11/4	2019/12/5	① 研修員が農林水産物の加工、高付加価値化、6次産業化についての知見を習得する; ② 1.農産物の加工、高付加価値化、マーケティングについての基礎的な知識を得る。 2.農産物の加工、高付加価値化、マーケティングに関する具体的な事例について理解する。 3.日本における農産物の加工、6次産業化の事例を参考にして研修員が自国で実施可能なアイデアを得る 4.研修員が帰国後の具体的な実践計画を作成する; ③ 1.講義:農産物の加工と6次産業化、高付加価値化、マーケティング戦略、ブランド化、パッケージとデザイン 2.実習:農産物加工 3.視察:大隅農産物加工研究センター、民間企業(農産物加工、畜産加工、水産加工) 4.意見交換:関係者との意見交換 5.発表:研修成果発表	現職・資格・知識: 農業生産者または農業関連(加工、流通など)の仕事に従事しているもの 経験年数: 不問 年齢: 21歳～50歳 学歴: 特に指定なし 日本語能力: 中級以上 他言語: 英語、他言語は、対応不可。	共同事業体 鹿児島国際交 流協力センター	酒井 マリ e-mail: kaptic117@po3.synapse.ne.jp SITE: http://kaptic.jp
S40	短期	人獣共通真菌症の研究に関する研修	1	下	下半期いずれかで 相談可	10/28、12/2、12/27、2/10	① 1) 疫学調査研修:クジラ型パラコクシジオイデス症の疫学調査の手法として、免疫組織化学法による抗体検査方法を習得する。また、ヒトやイルカだけでなく他の水棲哺乳類、魚類などへの研究の発展について、水族哺乳類の真菌症専門家によるガイダンスを受ける。(美ら海水族館) または 2)基礎研修:皮膚糸状菌症原因菌ならびに関連菌種の分離・同定方法を習得し、研究材料としての発展性を学ぶ(琉球動物医療センター)。 ② 1) 疫学調査研修:免疫組織化学法による抗体検査方法を習得する。 または 2) 基礎研修:皮膚糸状菌症原因菌ならびに関連菌種の分離・同定方法を習得する。 ③ 1)疫学調査研修: 1.クジラ型パラコクシジオイデス症に関する概論-1日 2.免疫組織化学法:染色用病理組織パラフィン標本の作成、パラフィンブロック薄切、脱パラフィン、染色など-4日 3.光学顕微鏡観察による判定-2日 4.統計処理方法の習得-1日 5.水族哺乳類の真菌症専門家によるガイダンス-2日(美ら島財団:美ら海水族館) または 2)基礎研修: 1.人獣共通皮膚糸状菌症に関する概論-1日 2.臨床現場の見学およびサンプリング方法の習得-2日(琉球動物医療センター) 3.培地作成-1日 4.培養方法および集落観察方法-1日 5.形態学的同定(マイクロカルチャー法の習得)-1日 6.分子生物学的同定-2日 7.水族哺乳類の真菌症専門家によるガイダンス(美ら島財団:美ら海水族館)-1.5日	現職・資格・知識: ・生物学系(獣医学、農学、医学、歯学、薬学、理学など)および動物看護系: ・1～2年の社会経験のある者が望ましい; 経験年数: 3年 年齢: 21歳～50歳 学歴: 大卒または専門学校卒 (ただし入学後3年以上の在学学生も可。) 日本語能力:不問 他言語: 英語または葡語での対応可能	琉球大学農学部	佐野 文子 e-mail: ayasano@agr.u-ryukyuu.ac.jp SITE: http://www.agr.u-ryukyuu.ac.jp/